

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成30年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
1	平成30年度連携事業の計画等に関する打合せ	4月	大阪国際大学 摂南大学 大阪樟蔭女子大学 追手門学院大学	地域協働センター 研究支援・社会連携センター くすのき地域協創センター 研究・社会連携課		平成30年度の門真市と大学との協働事業の年間計画について、打合せを行った。	市民生活部 地域政策課	
2	キッズサポーター事業	4月～3月	枚方信用金庫			登下校時における子どもの安全を確保するため、キッズサポーターによる見守り活動を行う。	教育部 社会教育課	
3	枚方信用金庫(大和田支店・門真東支店)でのチラシラック設置	4月～3月	枚方信用金庫			枚方信用金庫(大和田支店・門真東支店)でチラシのラックを設置し、市政やイベント等について、情報周知を行った。	企画財政部 魅力発信課	
4	①門真市情報公開審査会員 ②門真市個人情報保護審査会委 ③門真市個人情報保護審議会委 ④門真市行政不服審査会委員	平成30年12月～平成32年12月 平成30年12月～平成32年12月 平成29年6月～平成31年5月 平成30年4月～平成32年3月	摂南大学	法学部	小野 晃正	①門真市情報公開審査会、②門真市個人情報保護審査会、③門真市個人情報保護審議会及び④門真市行政不服審査会に委員として従事いただき、②門真市個人情報保護審査会にあたっては、審査請求された案件に対し、会議等において調査審議していただいた。	総務部 総務課	
5	研究倫理申請委員会委員の委嘱	4月～3月	大阪国際大学	庶務係		教員が行う人間を対象とした調査または研究において、倫理的(人権)配慮を図るため設置される研究倫理申請委員会の委員に地域政策課職員が委嘱され、研究にかかる審議等を行った。	市民生活部 地域政策課	任期は平成31年3月まで
6	「地域政策論」への授業講師派遣	5月	追手門学院大学	地域創造学部	藤原 直樹	追手門学院大学において、自治体や地域の事業所等で活躍できる人材育成を目指し、行政の地域政策について理解を深めることを目的に実施される地域創造学部「地域政策論」において、本市における公民協働の取り組み等について講義を実施した。	市民生活部 地域政策課	
7	平成29年度門真市市民公益活動事業報告会	5月	大阪国際大学	人間科学部	西岡 ゆかり	平成29年度門真市市民公益活動事業審査会において審査のうえ交付した事業を検証するため、専門的な見地から意見を述べていただいた。	市民生活部 地域政策課	
8	かどま土曜自学自習室サタスタ事業・まなび舎Kids事業	5月～3月	大阪国際大学 摂南大学	地域協働センター 理工学部・教職支援センター	 大野 順子	本事業では、毎年多数のボランティアにご協力をいただいております。ボランティアの確保は不可欠である。摂南大学の先生については、ゼミ内、授業内において学習アドバイザー募集について周知をいただいた。また、活動希望者がいた場合は、希望者と社会教育課のパイプ役として連絡・調整にご協力をいただいた。大阪国際大学地域協働センターについては、学習アドバイザーの募集をボランティアバンクを通じて紹介していただき、延べ31名の学生にご協力をいただいた。	教育部 社会教育課	
9	ラブリーフェスタ”18実行委員会への参画	5月～10月	摂南大学	経営学部	久保 貞也	学生が企画段階から参画し、当日は門真市にまつわるものづくり体験や、地域の特産品の紹介・販売を行った。	古川橋南北地域活性化協議会	

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成30年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
10	門真市スポーツ・レクリエーション事業	5月～11月	大阪国際大学	人間科学部	横山 誠 玉井 久実代	横山准教授及び玉井先生には、門真市生涯スポーツ推進協議会の委員として、事業の企画運営に助言いただくとともに、同大学の学生を委員及びボランティアスタッフとして積極的に派遣していただいている。スポーツ・レクリエーションフェスティバルでは、委員として参画いただいている学生より、企画運営に際して積極的な提案もあり、年々充実した運営を行うことができています。	教育部 社会教育課	
11	門真市教育委員会点検・評価検討委員会	6月～7月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也	「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の規定に基づき、教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価を行い、意見や助言を行った。	教育部 教育総務課	
12	おかず食堂こども会のボランティア	6月～1月	大阪樟蔭女子大学			門真市内で実施されるおかず食堂こども会の企画・運営に関し、大阪樟蔭女子大学の学生より、学習支援や話し相手等の協力をいただいた。	おかず食堂こども会	
13	門真市男女共同参画審議会	7月	大阪国際大学	人間科学部	西岡 敦子	平成30年度男女共同参画委員会の委員として、男女共同参画の推進に関する重要事項について、調査審議し、意見交換や助言等を実施。	市民生活部 人権女性政策課	
			追手門学院大学	地域創造学部	山本 博史			
14	門真市第6次総合計画審議会 市民ワールドカフェ・市民会議	7月～3月	大阪国際大学	経営経済学部	田中 優	市民の意見の聴取を目的に実施した「市民ワールドカフェ」及び「市民会議」において、本市が希望する「地域活性化について学ぶ若い世代」の意見聴取を、大阪国際大学及び追手門学院大学の学生の協力により達成でき、また、「市民会議」では意見の引き立て役としても活躍いただいた。	企画財政部 企画課	
			追手門学院大学	地域創造学部	藤原 直樹			
15	門真市自殺対策計画審議会	7月～2月	追手門学院大学	心理学部	溝部 宏二	門真市自殺対策計画を策定するために必要な事項についての調査審議に関する事務を行う門真市自殺対策計画審議会の委員として従事いただき、審議会では会長に選任され、4回の審議会を経て、門真市自殺対策計画の答申をしていただいた。	保健福祉部 障がい福祉課	
16	門真市社会教育委員	8月～3月	大阪国際大学	人間科学部	船越 達也	門真市社会教育委員として、社会教育に関する諸計画を立案するほか、定時または臨時に会議を開き、教育委員会の諮問に応じ、これに対して意見を述べる。	教育部 社会教育課	
			大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也			
17	平成30年度 門真市敬老会事業	9月	摂南大学	吹奏楽部		高齢者の長寿を祝うことにより、高齢者のますますの健康と福祉の増進を図るとともに、学生の日々のクラブ活動の成果を発表する場として、門真市敬老会オープニングで演奏を実施。	保健福祉部 高齢福祉課	
18	「キラッと！かどま2018」市内統一清掃	9月	枚方信用金庫			清掃ウィークにあわせ、大和田支店・門真東支店の周辺を清掃いただいた。	市民生活部 環境政策課	
19	平成30年度 秋の全国交通安全運動	9月	摂南大学	吹奏楽部		交通安全初日キャンペーンに、「駅前ふれあいコンサート」と称して吹奏楽部による演奏及び啓発活動のお手伝いにご協力をいただいた。	まちづくり部 地域整備課 (交通安全推進協議会)	

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成30年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
20	「北河内を知る」への授業講師派遣	9月～12月	摂南大学	教務課		北河内地域の特性や課題等を把握し、学生がグループとなり、課題解決の方策を検討することを目的とした「北河内を知る」において、門真市職員が市政の概要や総合戦略等について講義を実施した。その後、学生からの最終発表会において、質疑応答や講評等を行った。	市民生活部 地域政策課	
21	門真市地域子育て世代包括支援センターのロゴマークの制作	9月～2月	摂南大学	理工学部	稲地 秀介	現在、保健福祉センターで実施している母子保健を主とした相談サービス等と平成31年4月開設予定の(仮称)地域子育て支援センター(相談サービス含む)とが連携することにより、妊娠期から子育て期にわたって継続的に支援を行う「子育て世代包括支援センター」が保健福祉センターにて展開する予定である。 「子育て世代包括支援センター」が市民に周知され、利用が定着していくために、親しみやすいイメージに合うロゴマークの作成を、地域子育て支援センターのデザイン設計に携わった学生に依頼した。看板やチラシなど、市民周知の媒体にロゴマークを活用している。	保健福祉部 健康増進課	
					小林 健治		こども部 子育て支援課	
22	砂子小学校区祭り	10月	大阪国際大学	ボランティア活動研究会	横山 誠 玉井 久実代	砂子校区祭り実行委員会が砂子校区の地域活性化に資するために実施する祭りにおいて、学生が祭りの企画・運営に参画し、地域内を練り歩くだんじりの誘導やレクリエーション等を実施した。	砂子校区祭り実行委員会	
23	2018年度大阪樟蔭女子大学「くすのき地域社会論」授業講師派遣	10月・1月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也	地域社会の課題や現状について考察を深めるため、地域づくりに携わる各種団体からの講義を実施する「くすのき地域社会論」において、門真市職員が門真市の取り組み等について講義を実施した。	市民生活部 地域政策課 教育部 社会教育課	
24	門真市第6次総合計画策定事業総合計画審議会	10月～2月	大阪国際大学	経営経済学部	田中 優	門真市第6次総合計画の策定にあたり、総合計画審議会委員として審議をいただいた。	企画財政部 企画課	
25	門真市文化芸術推進審議会	10月・11月	大阪国際大学	短期大学部	朝倉 洋	平成30年度門真市文化芸術推進審議会委員として、文化芸術の推進について審議し、意見交換や助言を行う。	市民生活部 文化・自治振興課	
26	大学教員リレー講座	10月～12月	大阪国際大学	経営経済学部	中野 謙	本市が包括連携協定を締結する4大学のそれぞれの教員より、市民等を対象に市民がまちづくりに参画することの重要性や市民公益活動の必要性等について講義を実施した。10月23日の講座では地域貢献の捉え方と関わり方をテーマに、地域貢献やボランティアに関して講義をいただき、10月31日には災害をテーマに地域で取り組めることについて講義を実施した。11月10日の講座では笑いをテーマに、地域におけるコミュニティ形成に関して講義を実施し、12月1日には子育てについて乳幼児の心理等に関して講義を実施し、4つそれぞれ幅広い分野で講義を実施した。	市民生活部 地域政策課	
			摂南大学	理工学部	榎 愛			
			大阪樟蔭女子大学	学芸学部	根本 眞弓			
			追手門学院大学	心理学部・笑学研究所	浦 光博			

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成30年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
27	絵本の読み聞かせ事業(グリムプロジェクトとの連携)	11月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—————	図書館にて、大阪樟蔭女子大学グリムプロジェクトの学生による子どもを対象とした行事「秋のグリム絵本館へようこそ！～たくさんの秋に触れてみよう～」を実施した。	教育部 図書館	
28	「もったいない」普及事業 エコクッキング講座	11月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—————	大阪樟蔭女子大学イキ×ラボ・チャレンジプロジェクトとして学内で学生を公募し、選定された学生が講師となって、カボチャを丸ごと使用した『野菜がジャムに大変身！』エコクッキングを講座参加者に教え、実際に調理前と調理後の1日に必要な野菜量をわかりやすく、市民に対し、環境に対する意識啓発を図った。	市民生活部 環境政策課	
29	平成31年度門真市市民公益活動事業審査会	11月	大阪国際大学	人間科学部	西岡 ゆかり	平成31年度門真市市民公益活動事業補助金の交付にあたり、客観的な審査を行い、事業の適正な運営を図るため、門真市市民公益活動事業審査会委員として、審議をいただいた。	市民生活部 地域政策課	
30	第五・第三中学校区地域会議合同研修会	11月	大阪国際大学	経営経済学部	田中 優	地域会議のさらなる活性化にあたり、組織の方向性や取り組み内容等を検討するための参考とするため、大阪国際大学経営経済学部の田中優教授を講師に招き、田中教授による基調講演及び「2030年にわたしたちのまちをつくる」をテーマに、参加された地域会議代議員によるワークショップを実施した。	市民生活部 地域政策課 (第五・第三中学校区地域会議)	
31	追手門学院創立130周年記念式典	11月	追手門学院大学	—————	—————	追手門学院設立130周年記念式典に来賓として、宮本市長が出席した。	企画財政部 秘書課	
32	子育て支援委員地域保育コース(地域型保育)の実施	11月～12月	大阪国際大学	短期大学部	久保田 健一郎 他4名	門真市内に在住または在勤の方で、保育や子育て支援の仕事に関心があり、市内で保育や子育て支援の分野の各事業に就労することを希望する方を対象に、国の定める「子育て支援員研修実施要綱」において規定されている研修科目に基づき、子育て支援員研修(基本研修及び専門研修【地域保育コース(地域型保育)】)を全5回の講座を実施した。	こども部 こども政策課	
33	摂南大学PBLプロジェクト最終報告会	12月	摂南大学	教務課	—————	PBLプロジェクトを通じて取り組んだ事業について学生から報告が行われ、門真市職員が出席し、質疑等を行った。また、学生からの報告のほか、基調講演が行われた。	市民生活部 地域政策課	
34	公共施設マネジメント大学連携事業「中塚荘プロジェクト」	12月	摂南大学	理工学部	稲地 秀介 小林 健治	中塚荘の室内外の公共空間の魅力向上のため、学生が提案・企画・制作した家具等を設置するプロジェクト。 平成30年度は、提案プレゼンテーションを1月に実施した。	まちづくり部 公共建築課	連携期間は令和2年3月まで
35	「青少年の主張」事業	12月	大阪樟蔭女子大学	学芸学部	萩原 雅也	「青少年の主張」事業は、本市の青少年が毎日の生活の中で、考えていること・感じていることを自己の主張として文章にまとめ、社会に提言・主張することにより、物事に対する考え方や理解力を高めるとともに、国際社会の中で活躍できる、広い視野と想像力を持ち、主張できる青少年を育成する。 萩原教授には「青少年の主張」発表会の審査員長としてご協力いただき、公平な審査をすることができた。	教育部 社会教育課	

門真市における連携大学・企業との協働事業活動実績(平成30年度分)

市民生活部地域政策課

番号	協働事業	時期	大学・企業名	学部等	教職員名等 (敬称略)	具体的な連携実績の内容	関係部署・団体等	備考
36	めざせ世界へ羽ばたけ事業	2月	大阪国際大学	国際教養学部	久保 由加里	めざせ世界へはばたけ事業は、門真市と世界を舞台に活躍するグローバルな人材を育成するため、中学生英語プレゼンテーションコンテストを開催するとともに、中学生海外派遣研修を実施している。 久保准教授には、海外派遣研修の委託事業者を選定する中学生海外派遣研修業務委託事業者選定委員会の委員として、委託事業者を選定するため専門家としての鋭い意見や指摘を頂戴したことで、選定委員会の質を向上させることができた。 また、第8回門真市中学生英語プレゼンテーションコンテストで、審査員としてご協力いただいたことで、公正な審査を行うことができた。	教育部 社会教育課	
			追手門学院大学	国際教養学部	原 めぐみ			
37	第5回かどまエコフェスティバル	2月	大阪国際大学	地域協働センター	—————	大阪国際大学:良好な環境を次世代に残すために、環境の意識啓発を目的として行った門真市立リサイクルプラザでのイベントの中で廃油を利用した安全な防災ランプ作りを実施した。 摂南大学:環境と人をつなぐ架け橋となる人材を育てる「エコシビル部」は河川を中心として環境保全に取り組む団体であり、かどまエコフェスティバルにおいて活動用のボートの展示とともに活動内容の紹介を実施。 枚方信用金庫:紙幣つかみどりのブース出展	市民生活部 環境政策課	
			摂南大学	エコシビル部	—————			
			枚方信用金庫	—————	—————			
38	摂南大学法学部 中沼研究室卒業 研究発表会	2月	摂南大学	法学部	中沼 丈晃	摂南大学法学部中沼研究室に所属する学生の地域での取り組み等について、学生による報告会が行われ、門真市職員が出席した。	市民生活部 地域政策課	
39	第三中学校区地域会議防災・安全 安心部会 「防災ランプ作成 事業」	3月	大阪国際大学	プレッパーズ部	西岡 ゆかり	第三中学校区地域会議が主催する「防災フェスタ」において、大阪国際大学人間科学部西岡ゆかり准教授及び西岡准教授が顧問を務められるプレッパーズ部の学生を講師として招き、門真市立リサイクルプラザにて、防災講話や防災ランプ作成、新聞等の古紙やレジ袋を活用し、災害時に役立つグッズの作成体験ができるイベントを実施した。	市民生活部 地域政策課 (第三中学校区地域 会議)	
40	2018年度地域協 働センター報告会	3月	大阪国際大学	地域協働センター	—————	大阪国際大学が地域と連携して取り組んだ事業について、教員及び学生より報告会が行われ、門真市職員が出席した。	市民生活部 地域政策課	
41	2018年度イキ×ラ ボ・学生プロジェク ト報告会	3月	大阪樟蔭女子大学	くすのき地域協創センター	—————	大阪樟蔭女子大学くすのき地域協創センターでは、学生の学びと地域社会を繋ぎ、行政・地域住民・企業・NPO等との連携を通し、学生視点の地域貢献活動を総合的にサポートしている。学生が地域・行政等と連携し企画・実施した様々なプロジェクトの成果を発表する場として、平成30年度活動報告会を実施。 門真市からはイキ×ラボチャレンジプロジェクト等で学生と連携事業を実施した各課から職員が出席し、学生の発表について評価を行った。	市民生活部 地域政策課 環境政策課 教育部 図書館	

※大学の学部や企業、事業所管等の組織名称は平成30年度時点の名称としています。